

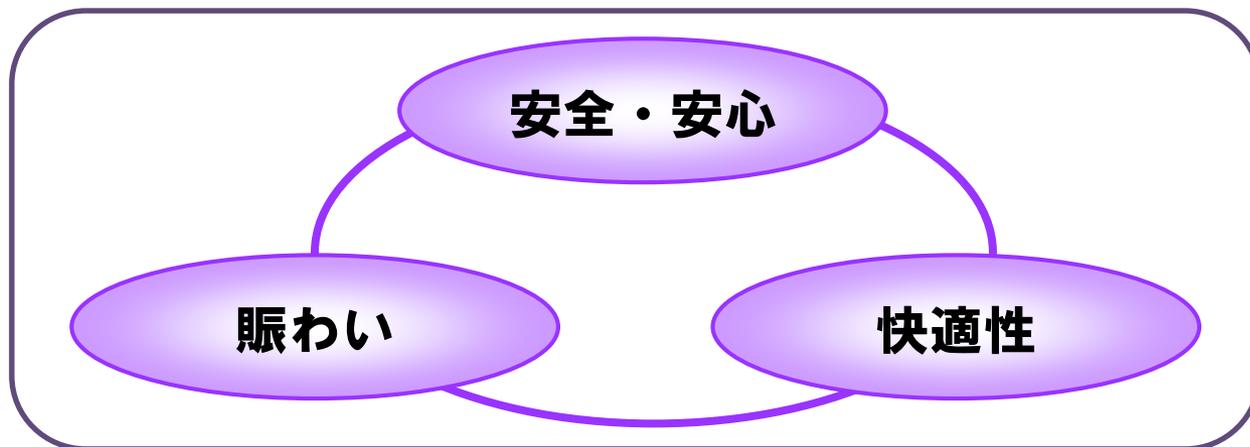
「歩いて楽しいまちなか戦略」 平成30年度の取組



平成31年3月19日

1. 「歩いて楽しいまちなか戦略」 とは・・・

50年後， 100年後も， すべての人を魅了するまちであるよう，
「歩いて楽しいまち」を創出する。



交通環境改善

徒歩と公共交通が主役となる交通環境

魅力的な空間形成

歴史的都心地区にふさわしい，魅力的で秩序ある都市空間の形成

賑わい創出

歴史的都心地区のポテンシャルを活かした魅力・活力

2. 四条通における取組

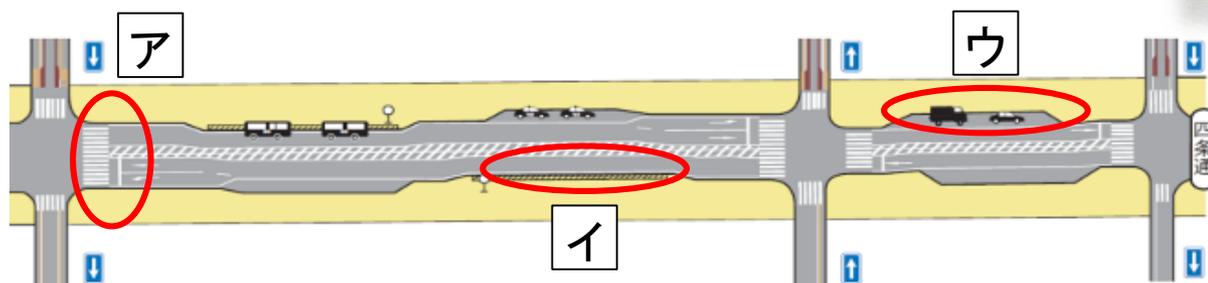
(1) 四条通歩道拡幅事業

【整備区間】 四条通(烏丸通～川端通間)延長1,120m,幅員22m



【整備内容】

- ア) 歩道の拡幅
- イ) テラス型バス停の導入とバス停の集約
- ウ) 沿道アクセススペース及びタクシー乗場の設置



2. 四条通における取組

(2) 四条通歩道拡幅事業に伴う地上機器の移設と美装化

■ 地上機器の移設 ⇒ 平成30年6月完了

歩道拡幅に伴い歩道中央付近に残った地上機器を移設

- ※地上機器は電気を安全に供給するための設備で、無電柱化の際に設置
- ※一部の地上機器は、地下埋設物等が支障となり、電力柵が設置できないため、横断防止柵付近からやや離れた位置又は歩道中央付近に存置

【移設前】



【移設後】



■ 地上機器の美装化 ⇒ 平成30年8月完了

歩道拡幅事業完了

歩いて楽しい「まち歩きギャラリー」が誕生

丸みのある台座による安全対策

⇒視認性の向上と歩行者が接触した場合の衝突軽減

磁器板による美装化

⇒四条繁栄会商店街振興組合及び京都市立芸術大学の協力のもと、洛中洛外の四季の移ろい等を表現

【磁器板デザインの一例】



地上機器美装化の状況



地上機器美装化お披露目会の様子（9月3日開催）

2. 四条通における取組

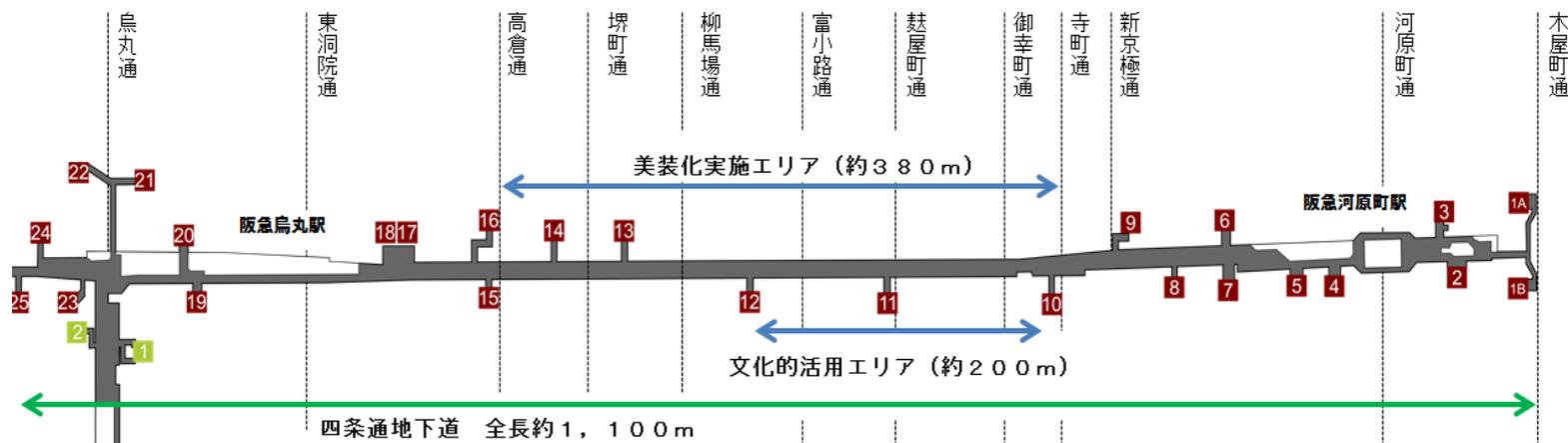
(3) 四条通地下道活性化事業

- 地元、商業施設、事業者等と連携し、これまで「単に通り抜けるだけの空間」となっていた四条通地下道を、「京都のまちにふさわしい文化的な活用」を基本に活性化し、新たな賑わいを創出

- 地下道中央エリアの美装化及び文化的活用を実施

- ① 明治150年記念・みんなの写真展 ～四条地下道タイムトンネル～ 平成30年7月27日～9月9日
- ② 四条繁栄会商店街振興組合設立50周年記念事業「未来の京都・四条 児童絵画展」平成30年9月13日～9月24日
- ③ 『天才アートがやってきた！～公共空間にアートの彩り！』 平成30年11月8日～平成31年1月27日

- 四条通地下道の更なる活性化に向け、持続的な活性化方策及び適正な管理のあり方等について、引き続き検討



3. 細街路における取組

(1) 「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備

【整備方針】

- **走行空間の優先順位: 「歩行者 > 自転車 > 自動車」**
- 安心してゆとりある歩行空間の確保
- 自動車の走行速度の抑制
- 自転車の交通秩序の整序化を実現

【具体的な整備内容】

- ア) 路側線の引き直しとカラーラインの設置
- イ) ゾーン出入り口での対策
- ウ) 三条通でのカラー舗装等の実施



(麩屋町御池交差点)



ウ



薄層カラー舗装等の実施状況

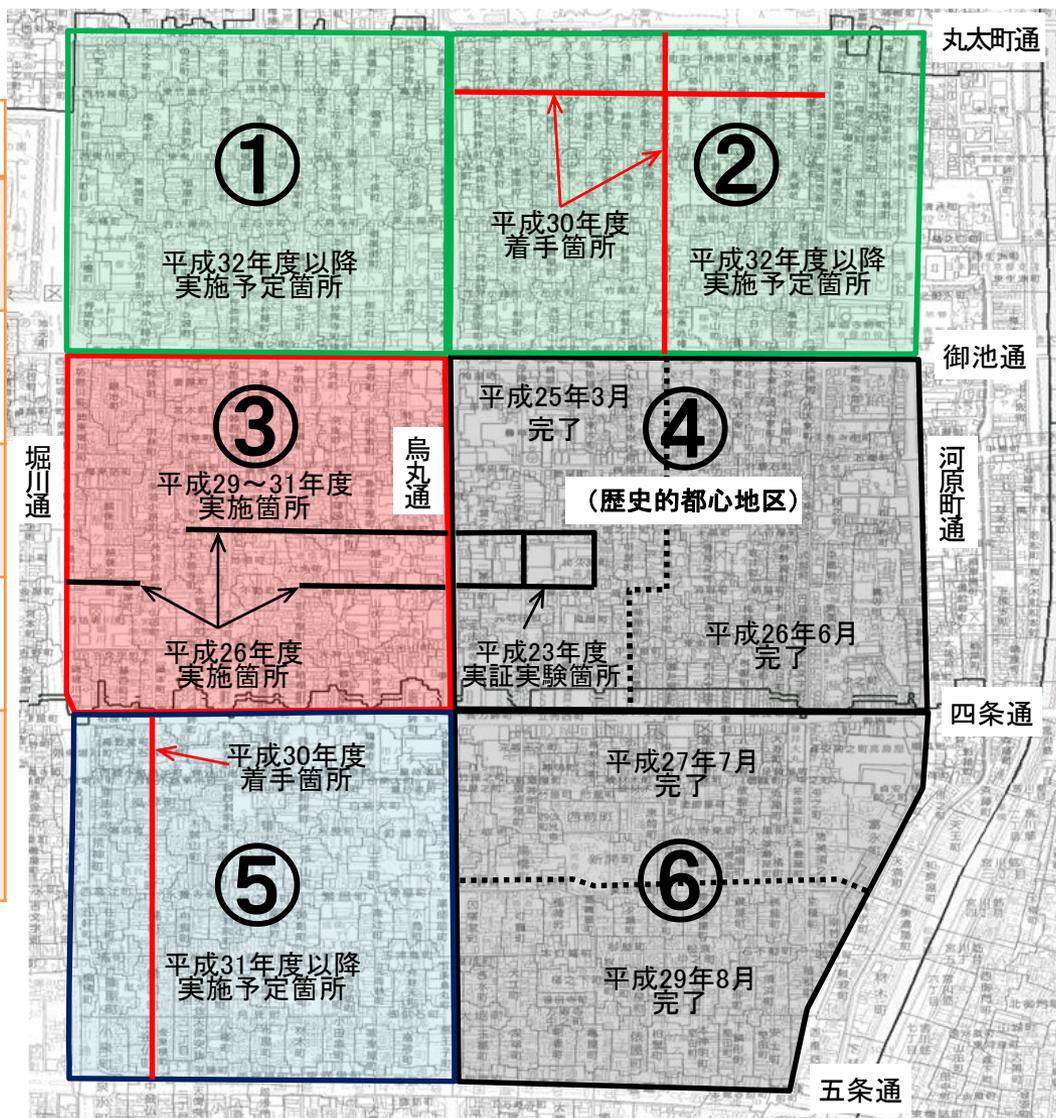
薄層カラー舗装及び小舗石舗装

3. 細街路における取組

(2) 「歩いて楽しいまちなかゾーン」進捗状況

【これまでの経緯】

時期	実施内容
23年度	高倉学区における実証実験
24年度～26年度	歴史的都心地区の整備完了(ゾーン④)
26年度～29年度	整備範囲を広げて実施(ゾーン③, ⑥)
30年度	ゾーン②, ③, ⑤における整備
31年度以降	ゾーン①, ②, ③, ⑤を対象に, 順次, 整備(予定)



4.マイカー流入抑制の取組

歴史都心地区への車両（マイカー）流入抑制の取組

迂回誘導看板及び横断幕の設置

＜常設＞電光表示板 15箇所

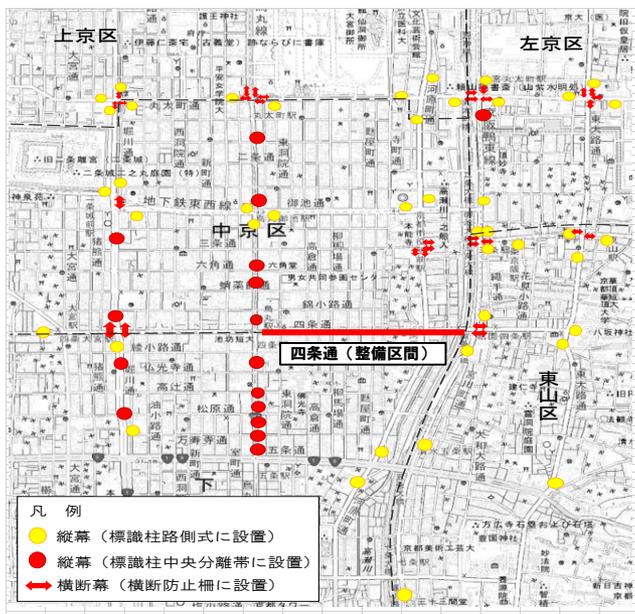
迂回誘導看板 20箇所 ※

※うち、1箇所は、電柱地中化工事に伴い、12月に撤去

＜仮設＞横断幕 89箇所

設置期間：平成30年3月～9月、11～12月

平成31年3月～



【横断幕の設置位置図】

観光雑誌への掲載

春：京都ウォーカー 5万部

道の駅，SA・PAへのチラシの配架

秋・春：約300箇所 約15,000部 ほか



【掲出している縦幕】

【配架チラシ】

5. 物流の整序化に向けた取組

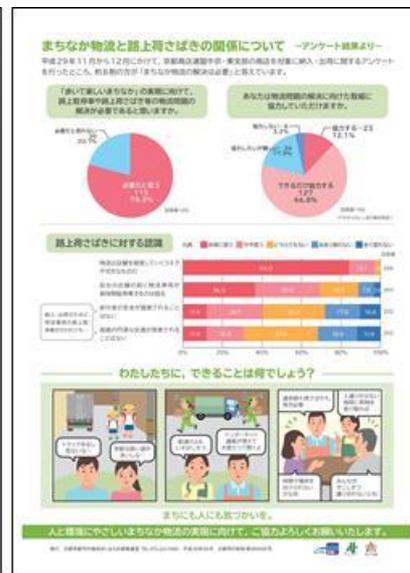
(1) 物流WGにおける取組方針

まちなかにおける物流の状況について継続的にモニタリング

- 御池通の規制緩和の動きを受けて、まちなかの幹線道路(四条通, 烏丸通, 御池通, 河原町通)における路上駐停車と横持ちの状況を把握するため、「まちなか物流実態調査」として「荷さばき巡回調査」と「横持ち追跡調査」を実施

物流に関するモビリティ・マネジメント(物流MM)

- まちなかの商店街の店舗等を対象に、アンケート調査を通じたモビリティ・マネジメント(MM)の取組を継続



5. 物流の整序化に向けた取組

(2) 御池通における駐車規制の見直しについて

御池通の駐車禁止規制を見直します！

御池通（河原町通から堀川通の間）の駐車禁止規制は、平成30年12月17日（月）から午前7時から午前9時までの観光バスの駐車に加え、**午前6時から午後8時までの貨物集配中の貨物の駐車が可能**になります。



規制見直し後のイメージです
 一歩先の配達
 配達業務の効率化
 により、より多くの
 配達員が、より多くの
 配達員が、より多くの
 配達員が、より多くの



宅配貨物を含む物流は、今日の私たちの社会生活に密接に関連した公共性の高いサービスとなっています。宅配貨物等の駐車スペースが少ない京都のまちなかにおいて、交通影響とのバランスを考えた上で、貨物集配中の貨物自動車に限り駐車禁止規制の対象から除外することは宅配貨物等の無秩序な違法駐車を抑制するとともに『私たちの社会生活の利便性の向上』や『交通の安全と円滑の向上』につながります。



ご理解いただきますようお願いいたします。
 京都府警察本部交通規制課 (075-451-9111)
 京都府中京警察署 (075-823-0110)



京都のトラック 路駐OK



規制緩和前の御池通。男性は路肩にトラックを止め、荷台の食品を下ろしていた＝15日午前、京都市中京区

背景に働き方改革

運送交通法では、駐車禁止区域の場合、5分以内なら荷物の積み下ろしに限り、駐車することを認めている。しかし、5分を超えたり、車が無人になったりすると駐車違反だ。

違反防止のため出動

公営社団法人「倉庫トランプ」の調査によると、トラックドライバーは、長時間労働を懸念する。政府は昨年8月、自

集配中のトラックなどが路上駐車できるよう、京都府警が17日から京都市中心部の1.5キロ区間で駐車規制を緩和した。背景にあるのはトラック運転手の働き方改革。警察庁が都道府県警に規制緩和を求め、警視庁などでも動きが広がる。

御池通1.5キロ区間 府警が規制緩和

京都府警が緩和したのは、京都市中京区の御池通の1.5キロ区間。駐車禁止の標識に「集配中の車を除く」と補助標識をつけ、午前6時～午後8時に限り、集配中のトラックなどの貨物車の路肩駐車を認める。御池通は最大8車線あり、事故や渋滞につながりやすいと判断した。全日本トラック協会によると、全道運後に緩和区間を設けたのは全国で初めてだ。

府警は御池通での効果を見ながら、他の路肩・区間の緩和も検討する。

専用の駐車スペース
 警視庁は4月以降、東京都内の港区、品川区、渋谷区で計8台分の集配車専用の駐車スペースを試験的に設けた。中小企業が多い地域や、民家やマンションが立ち並ぶ地域で、配達時間が短縮につながったとして好評という。来夏以降、23区を中心に都内約100カ所にはかけていくという。

先遣地の兵庫県では通達前の2006年から順次、集配車の路肩駐車を認め、これまでに43カ所約11キロの区間で緩和してきた。通達を受けて、さらに対象を広げる方針だ。

ネット通販の普及による貨物の増加や人手不足から、運送業界では長時間労働が問題になっている。厚生労働省が毎年6月に実施する調査では、大型トラック運転手の昨年6月の1カ月間の労働時間は平均71.8時間。全産業の平均は67.8時間で、全17の職種の中で最も長かった。

「対象路線増え」
 運転手たちは規制緩和を歓迎している。

緩和前の12日夕、大手宅配会社Aのトラックがハザードランプをつけて京都市中京区の御池通に止まると、運転手はボールと紙袋を荷台から取り出し、小走りでビルに入っていた。助手席にいた男性(88)は、助手席に座る「見張り番」だ。「上の階に届ける10分くらいかかり、(運転手1人)で駐車違反になってしまふ。緩和は理にかなっている。運転手が戻ってきたのは10分あり後だった」

京都府トラック協会が広報担当者は「ただでさえ運転手は長時間勤務なので、見張り役をするのももっとも長時間になる。これを皮切りに対象路線を増やしてほしい」と期待を寄せる。(冒頭は京、福千歳、川嶋かき

5. 物流の整序化に向けた取組

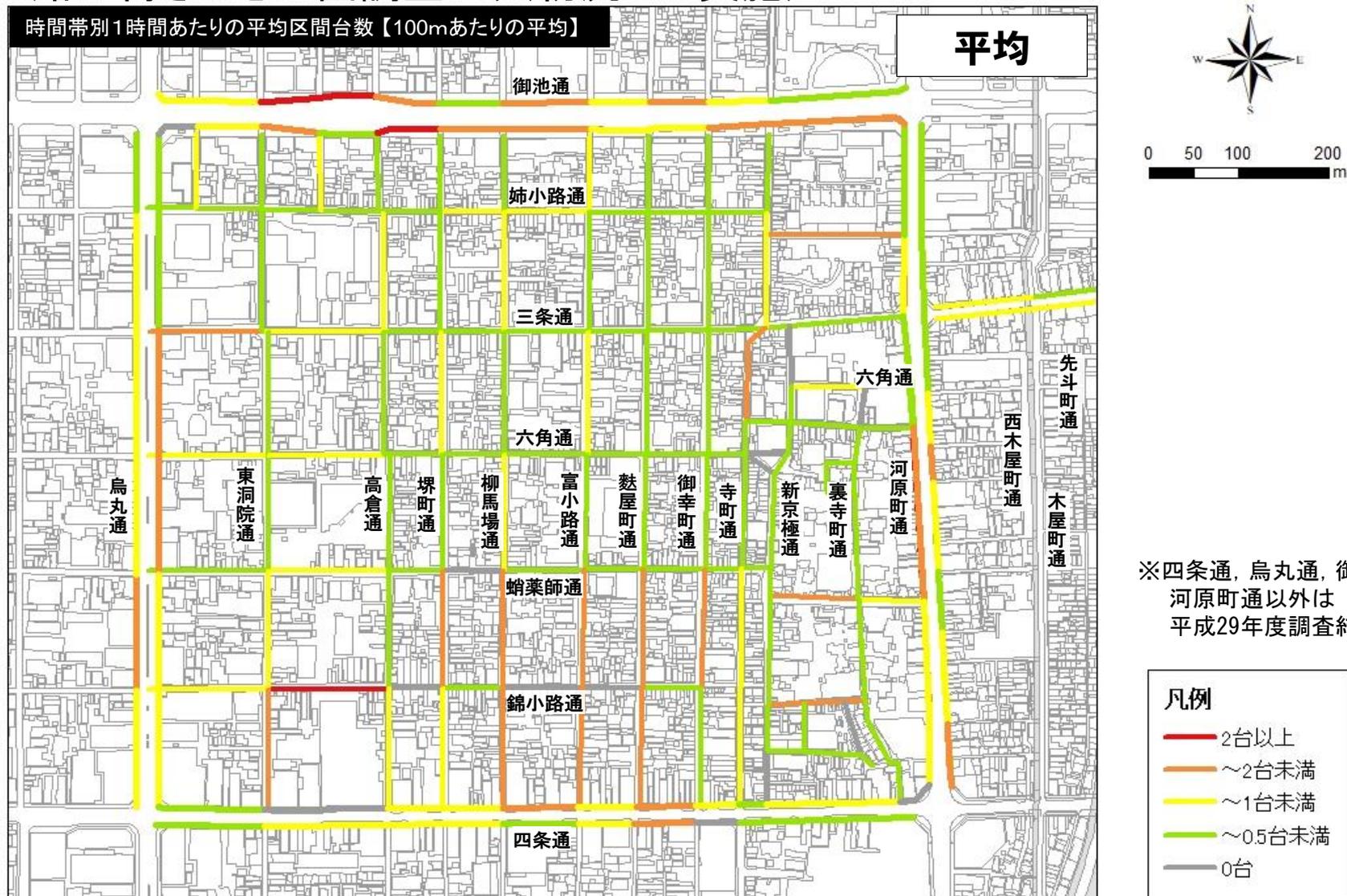
(3) 物流WGでの取組内容

取組名	取組対象	取組内容
まちなか物流実態調査① 路上荷さばき巡回調査	歴史的都心地区の幹線道路 (四条通, 烏丸通, 御池通, 河原町通)	路上荷さばきを行っている 車両の台数や位置等を調査
まちなか物流実態調査② 横持ち追跡調査	上記調査①において駐停車が 多く見られた12区間	駐停車車両から台車等を利用 して横持ちを行っているドライ バーを追跡し, 駐停車位置と 配送先の関係性を調査
まちなか物流に関する アンケート調査 (物流MM)	京都府商店街振興組合連合会 中京東支部所属商店街の 加盟店舗	・まちなかの商店街における 納入・出荷の実態 及び 物流に 対する意識を調査 ・アンケートを通じたモビリティ マネジメント(MM)(意識変容 を促す取組)

5. 物流の整序化に向けた取組

(4) 荷さばき車両等の路上駐停車の状況

■ 路上荷さばき巡回調査より(物流WG実施)

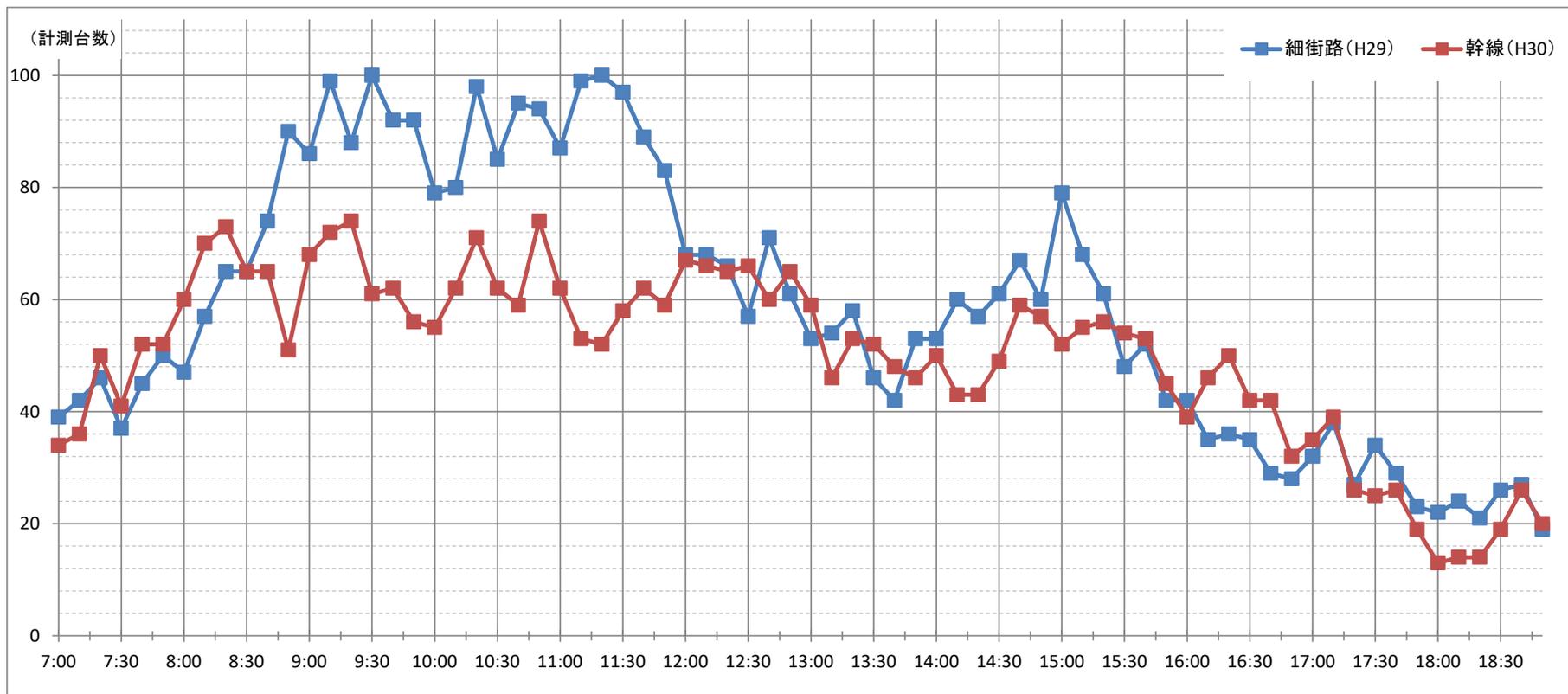


5. 物流の整序化に向けた取組

(4) 荷さばき車両等の路上駐停車の状況

■ 路上荷さばき巡回調査より(物流WG実施)

- 細街路は時間帯によって、駐停車台数の増減が見られたが、幹線道路では、時間帯による変化が少ない。

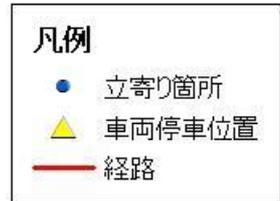
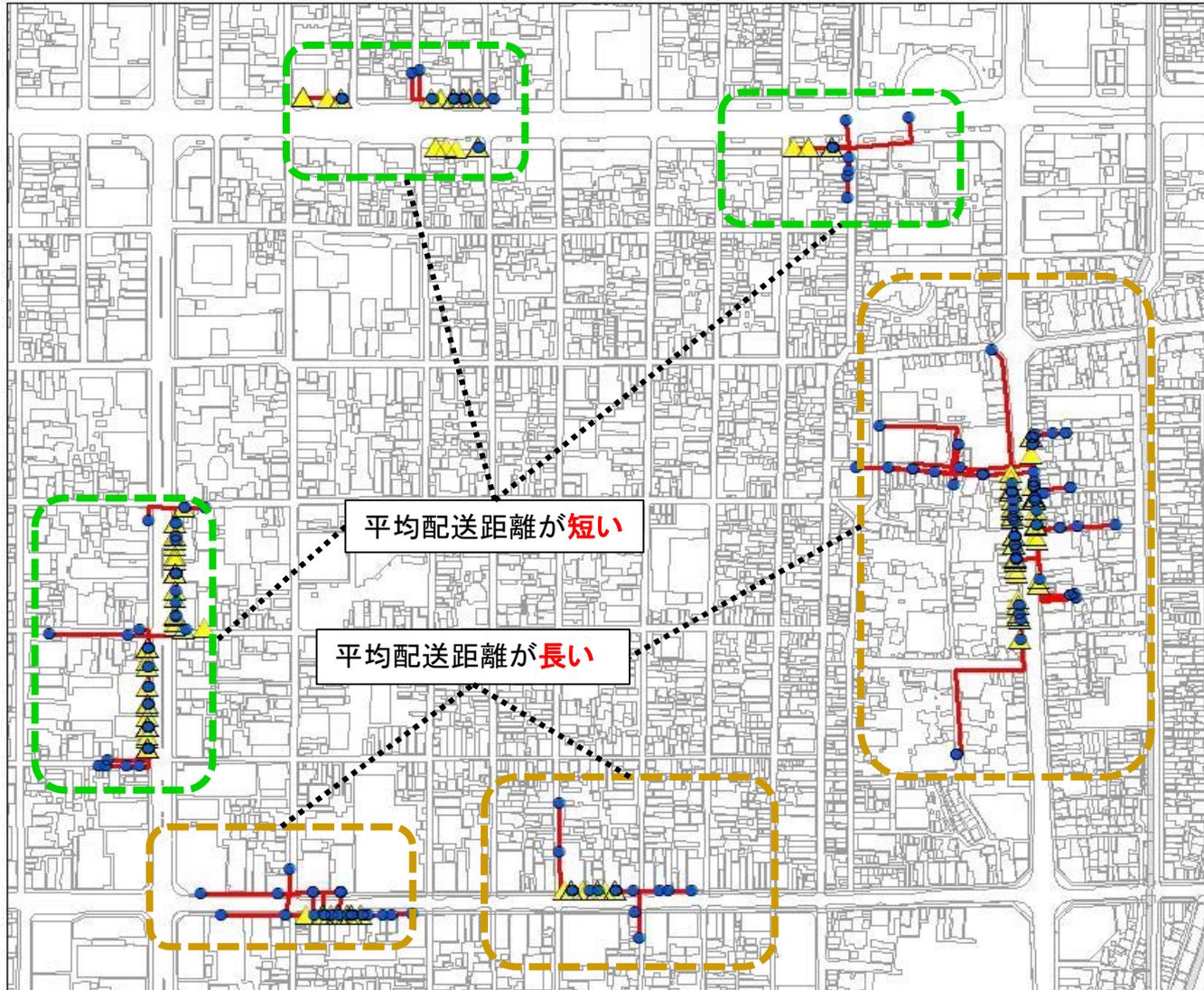


※細街路 (H29) : 幹線を除く歴史的都心地区及び三条通(河原町通～鴨川) (平成29年10月17日(火)調査)
幹線 (H30) : 歴史的都心地区の幹線道路(四条通, 烏丸通, 御池通, 河原町通) (平成30年10月9日(火)調査)

5. 物流の整序化に向けた取組

(5) 幹線道路からの配送（横持ち）の状況

■横持ち追跡調査より(物流WG実施)



5. 物流の整序化に向けた取組

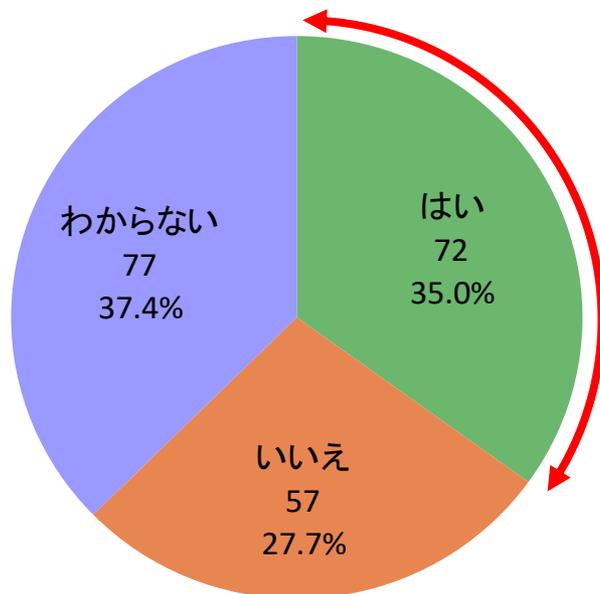
(6) 物流MM（モビリティマネジメント）の取組

■ 昨年度アンケート（平成29年11月）の回答状況

- 昨年度回答者は、全体の約3分の1（「わからない」を除くと過半数）
- うち、約9割が「まちなか物流」を認識するきっかけになった」と回答

<昨年度アンケートの回答状況>

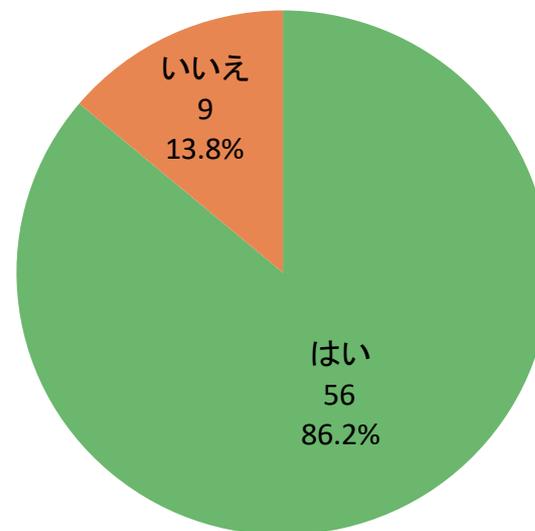
Q 昨年度に実施したアンケート調査にご回答いただけましたか？



N= 206

※無回答除く

Q 「まちなか物流」について認識するきっかけになりましたか？



N= 65

※無回答除く

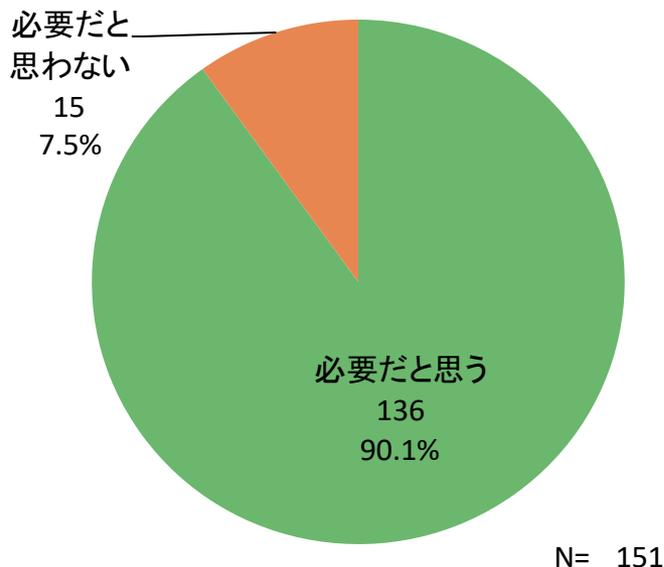
5. 物流の整序化に向けた取組

(6) 物流MM（モビリティマネジメント）の取組

■「まちなか物流」の解決要否

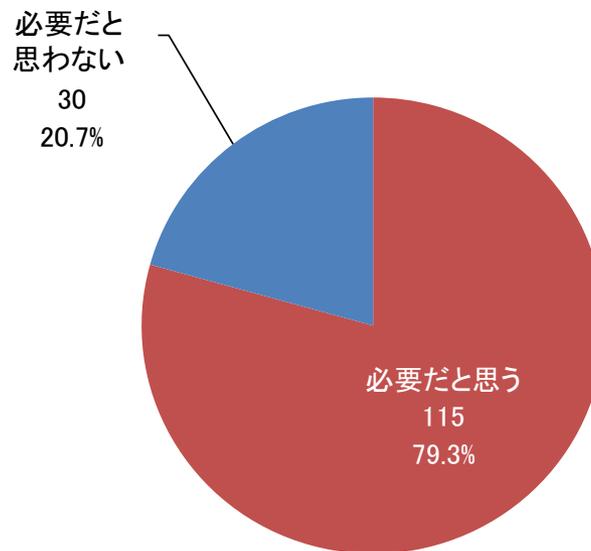
- 約9割が「物流問題の解決が必要」と感じている。
- 昨年度と比べると「必要だと思う」が約1割増加しており、アンケート調査を通じて、意識が高まったと考えられる。

Q あなたは路上駐停車や路上荷さばき等の物流問題の解決が必要だと思いますか？



※「わからない」及び無回答除く

<平成29年度調査結果>



※「わからない」及び無回答除く

6. タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

(1) タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

■実施期間：平成30年11月10日(土)～30日(金)

① 街頭啓発

場所：イオンモール京都五条 (11/10(土))

梅小路公園 芝生広場(下京区ふれ愛ひろば内)(11/11(日))

概要：ブースを設置し、来場者に対するアンケートを実施

併せて、ティッシュやエコバッグなどの啓発グッズを配布



イオンモール京都五条

② 横断幕の設置

設置場所：四条通 5箇所、京都駅八条口 1箇所 (計6箇所)



下京区ふれ愛ひろば

③ タクシー車内への啓発ポスターの掲示



四条通における横断幕の掲出

6. タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

(1) タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

④ 乗務員向けアンケートの実施

目的： 啓発リーフレットの配布とアンケート調査を通じて、
タクシー乗務員の自発的な駐停車マナー向上を図る

対象： 京都市域交通圏(京都府の京都市以南地域)のタクシー乗務員

実績： 配布 8,463部 うち、回収 3,138部 (回収率37.1%)



⑤ 利用者(乗客)向けアンケート調査

目的： アンケート調査を通じて、タクシー利用者(乗客)に、
駐停車禁止区域等に関する情報を提供することにより、
乗降マナーの向上を図る。

対象：

- ア ①の街頭啓発会場への来場者
- イ 京都市内でタクシーに乗車した利用者(乗客)

実績： 回収 502部

タクシー乗務員に対するマナー向上の働きかけ
(アンケート調査票(上)と啓発冊子(下)との配布)



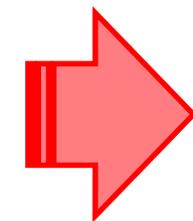
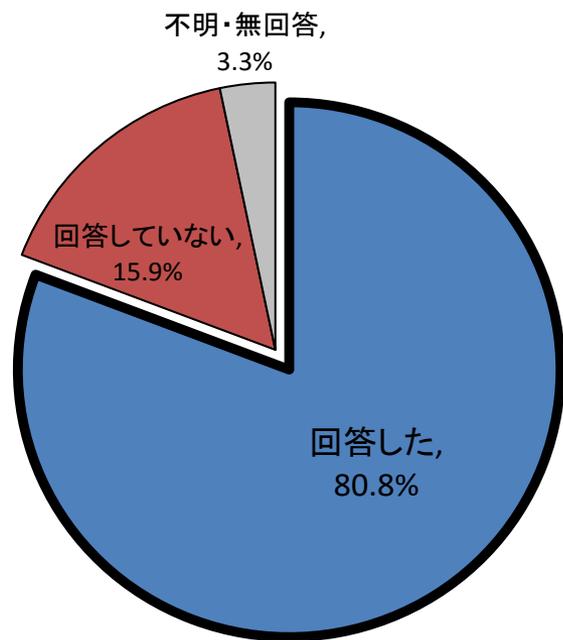
タクシー利用者に対するマナー向上の働きかけ
(アンケート調査票)

6. タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

(2) タクシー乗務員の意識

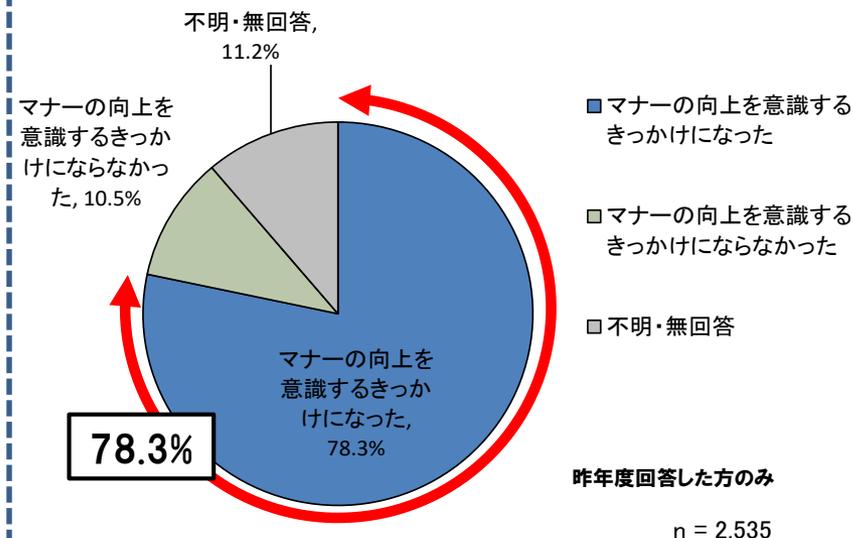
- 前年度に実施したアンケートへの回答者が8割を占め、そのうち8割が「マナーの向上を意識するきっかけになった」と回答している。

Q 昨年度に実施したアンケート調査にご回答いただけましたか？



n = 3,138

Q マナーの向上を意識するきっかけになりましたか？



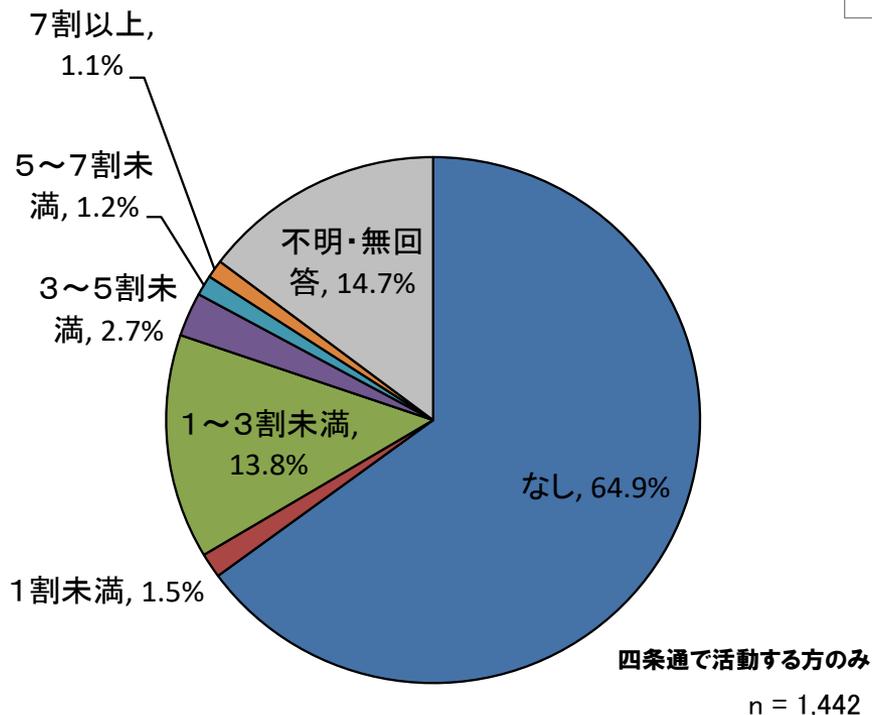
6. タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

(2) タクシー乗務員の意識

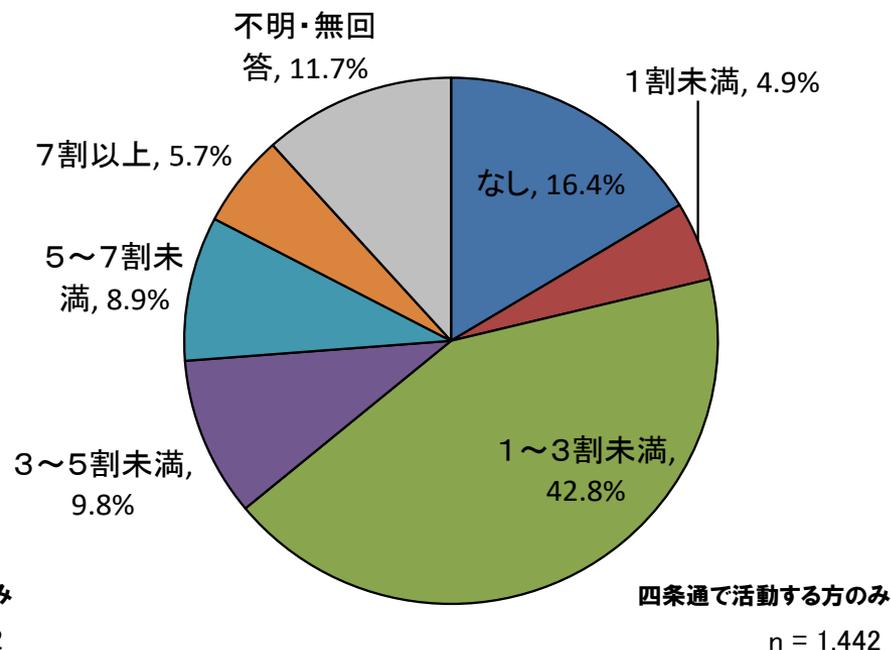
＜四条通におけるルールの遵守について＞

- 「タクシー乗り場以外での客待ち」は「しない」が6割にとどまる。
- 「定められた場所以外での乗降」を「しない」のは2割未満。

Q タクシー乗り場以外で客待ちすることは、どれくらいありますか？



Q 定められた停車場所（沿道アクセススペースやタクシー乗り場）以外で乗客の乗降をさせることは、どれくらいありますか？



6. タクシー駐停車マナー向上キャンペーン

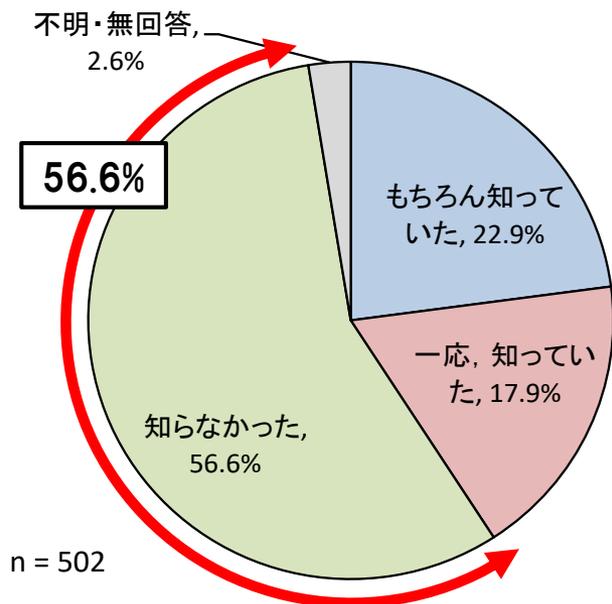
(3) タクシー利用者（乗客）の意識

＜交差点等での乗降についての違法性の意識について＞

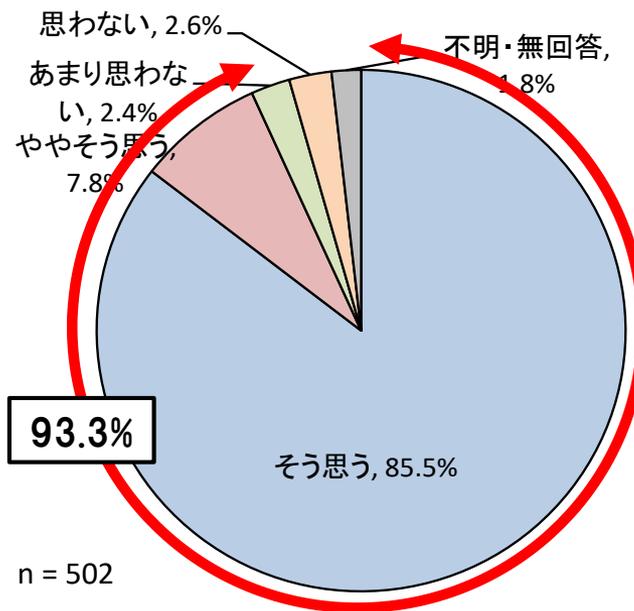
- 「交差点やバス停付近での乗降」や「タクシー乗り場以外での客待ち」が道路交通法上「違法」であることを「知らなかった」人が約6割
- しかし、アンケートへの回答を通じて「今後、交差点やバス停付近ではタクシーの乗降をしないようにしようと思う」とする人※は9割以上となる。

※ 「そう思う」もしくは「ややそう思う」の合計

Q 交差点での乗降の違法性など、道路交通法の内容を知っていましたか？



Q 今後、交差点やバス停付近ではタクシーの乗降をしないようにしたいと思いますか？

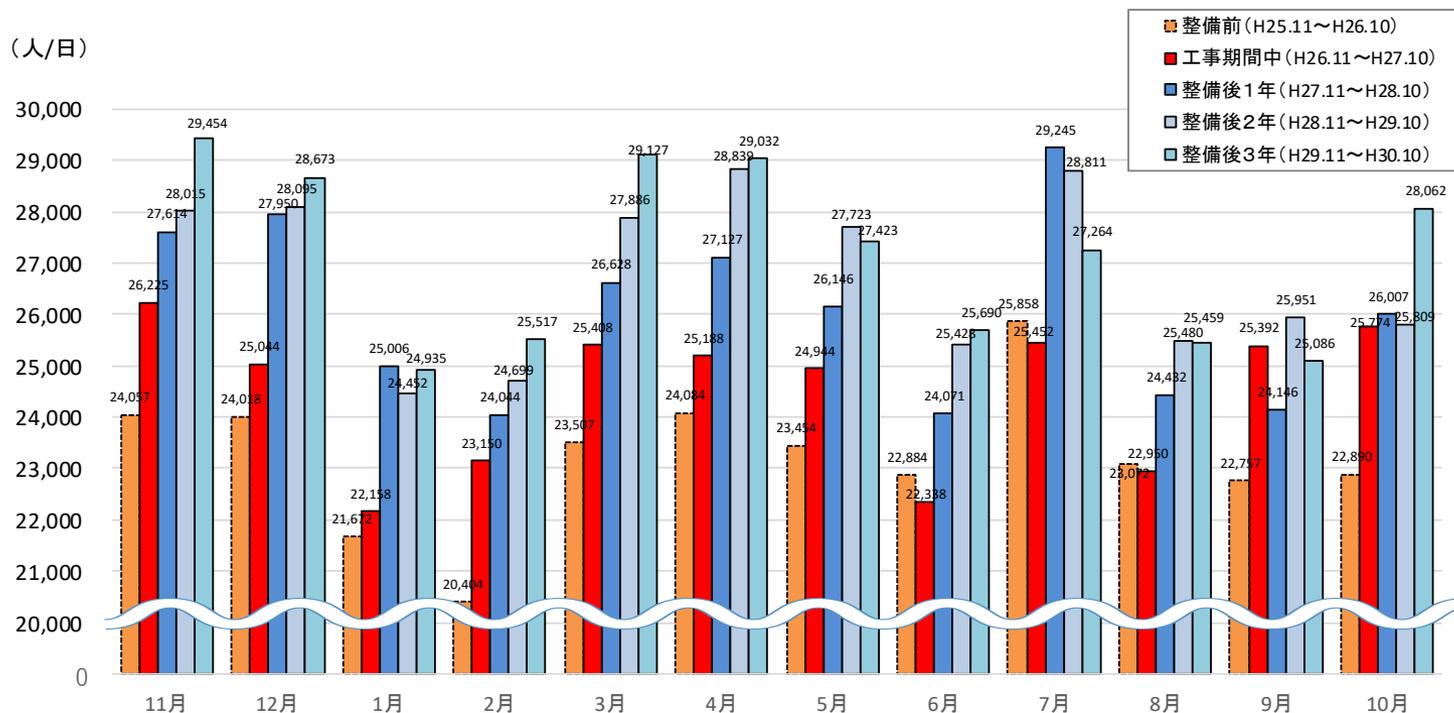


7. 「まちなか」の現状

(1) 四条通における歩行者数

- 四条通の歩行者数は、整備前と比べて16.8%増加しており、その後も、増加傾向が継続している。

整備前(平成25年11月～平成26年10月): 23,247人/日
整備後(平成29年11月～平成30年10月): 27,155人/日



※四条繁栄会商店街組合からの提供データをもとに、京都市で集計したもの
※歩行者数は、四条繁栄会商店街組合が設置する歩行者カウンター1箇所あたりの1日平均カウント数
※平成27年9月に歩行者カウンターのセンサー範囲を拡幅後の歩道まで拡大
※歩行者カウンターの不備等により正確に測定できていない日は集計から除外している

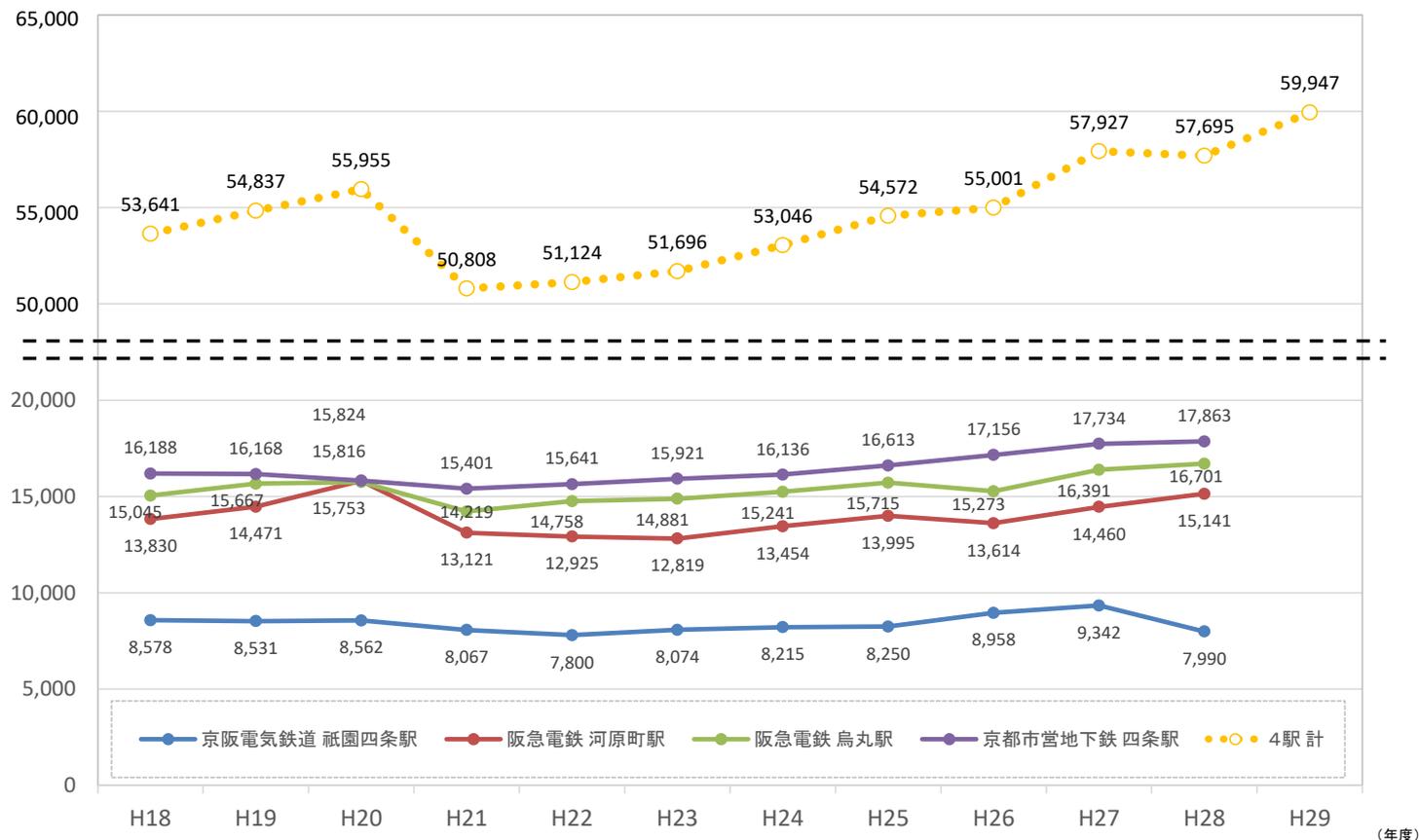
図 四条通の歩行者数の変化

7. 「まちなか」の現状

(2) 公共交通による来訪者数

- 四条通整備区間周辺の鉄道駅の乗車人数は、整備前（平成25年度）と比べて9.8%増加している。

(千人/年度)



※平成28年度に一部事業者の算定方法に変更があった
資料：京都市調べ

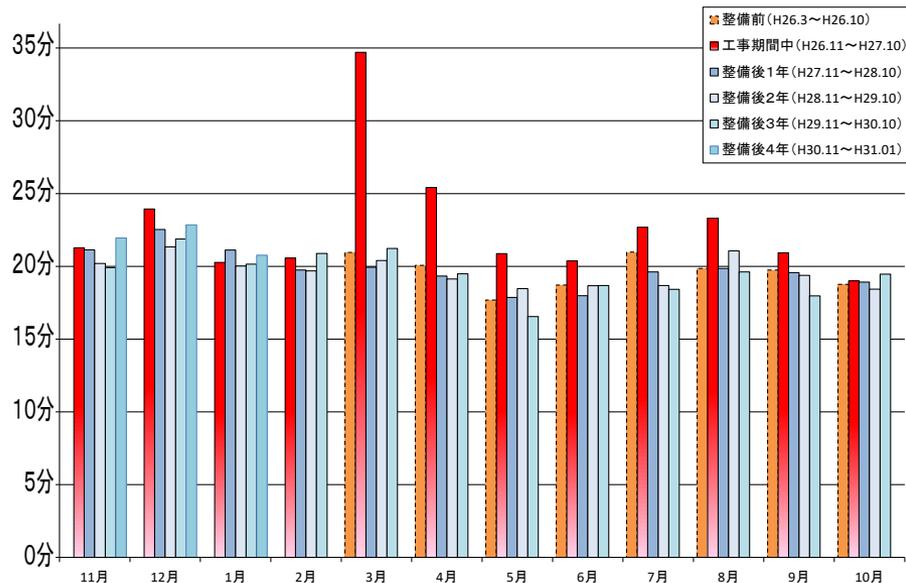
図 四条通整備区間周辺の鉄道駅乗車人数の推移

7. 「まちなか」の現状

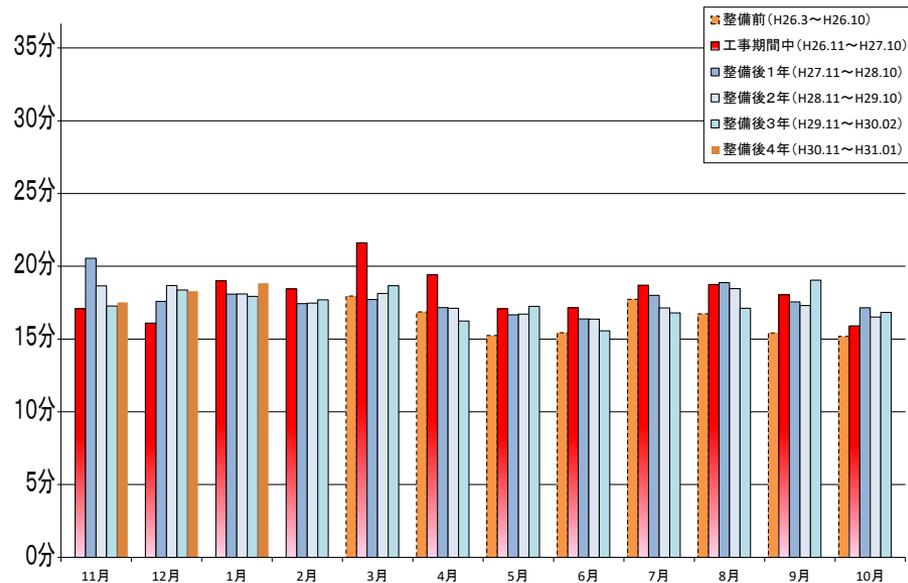
(3) 市バスの平均運行時間

- ・ 工事期間中，四条通の整備区間では，市バスに約5～15分程度の遅れが生じていたが，整備完了後は着工前と同程度となっている。

<西行>



<東行>



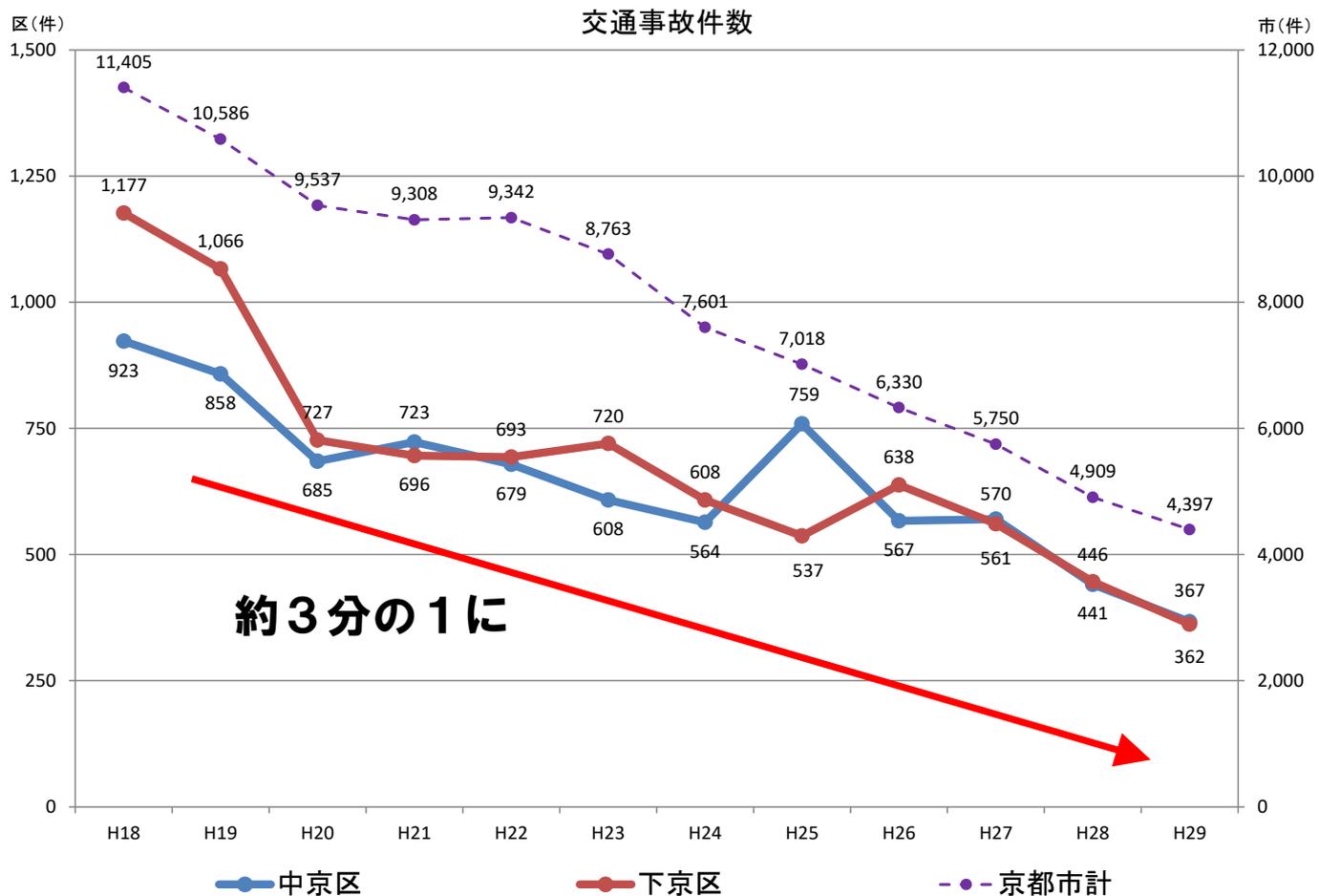
区 間 : 祇園交差点～四条堀川交差点
集計時間帯 : 15時台～18時台

図 四条通の整備区間を通る市バスの平均運行時間
(設定ダイヤ15分)

7. 「まちなか」の現状

(4) 交通事故件数の推移

- 中京区及び下京区における交通事故の件数は、10年前と比べて約3分の1に減少している。



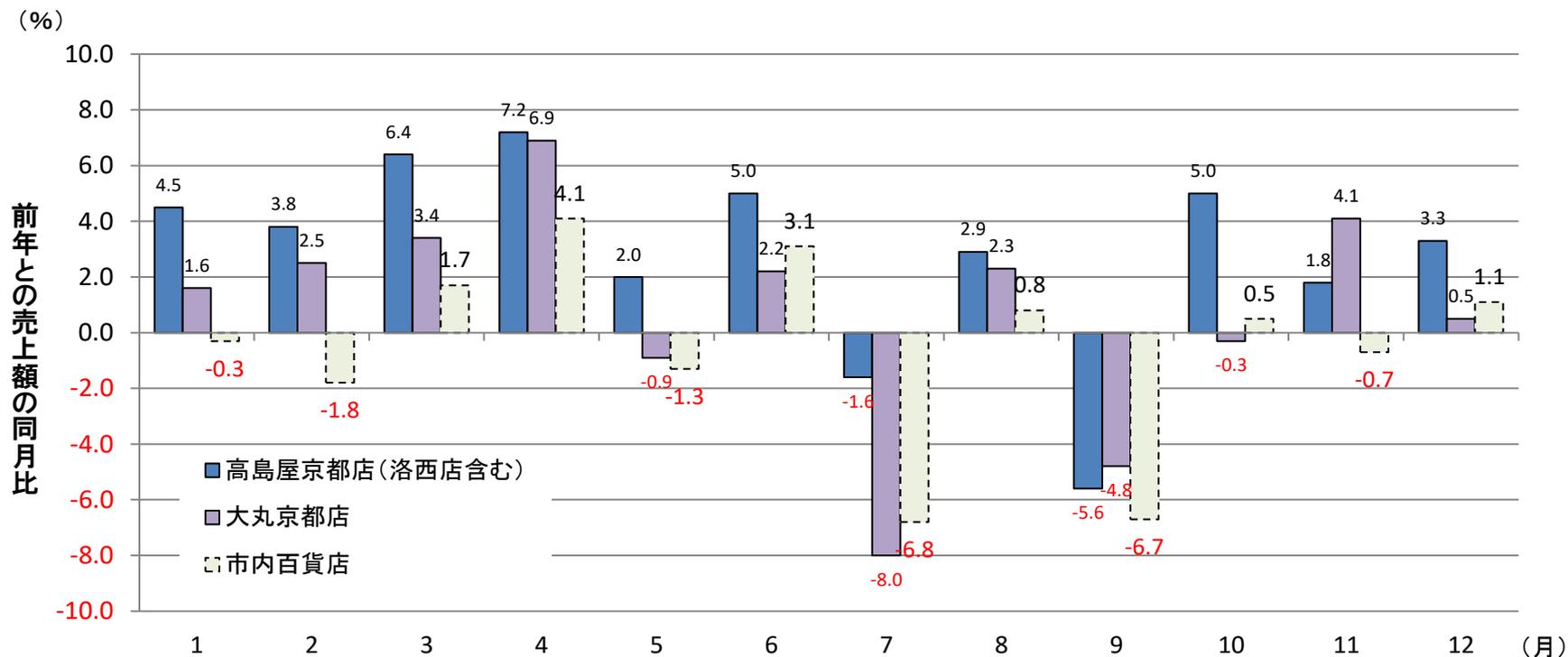
資料：交通統計（京都府警察本部）

図 中京区及び下京区の交通事故件数の変化

7. 「まちなか」の現状

(5) 百貨店の売上額（前年同月比）

- 四条通沿道の百貨店※1の売上げ（前年同月比）は、災害（地震や台風等）発生月を除いておおむね好調であり、市内百貨店の数値を上回っている。



四条通沿道の百貨店※1の数値：各社営業報告（高島屋，大丸）
 市内百貨店※2の数値：全国百貨店売上高概況（日本百貨店協会）
 ※1 四条通沿道の百貨店：高島屋京都店，大丸京都店
 ※2 市内百貨店：伊勢丹，大丸(京都店，山科店)，高島屋(京都店，洛西店)，藤井大丸

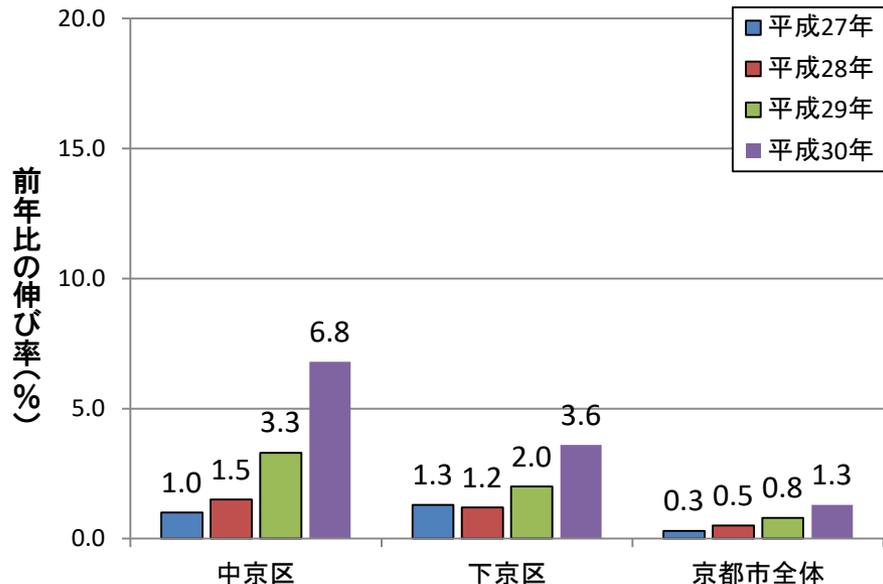
図 歴史的都心地区内の百貨店の売上額（前年同月比）

7. 「まちなか」の現状

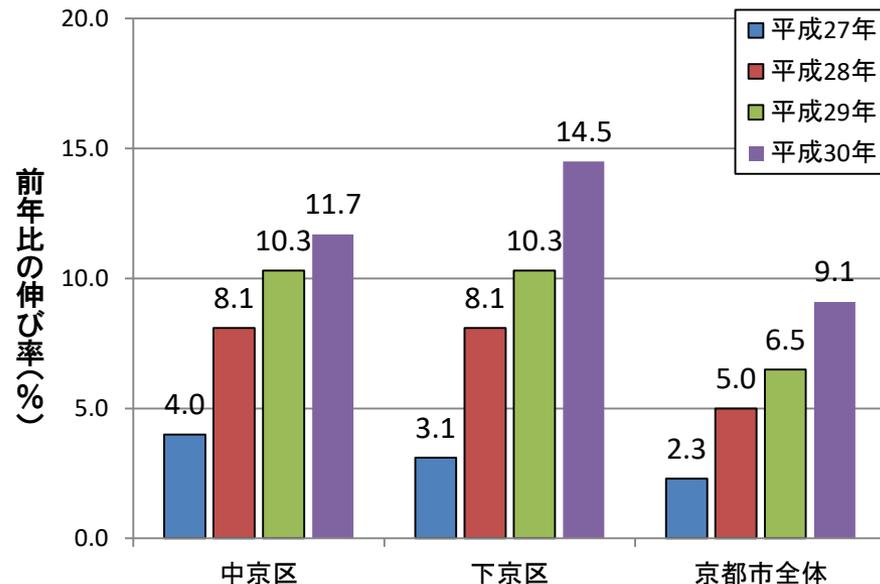
(6) 地価公示価格の推移

- 中京区と下京区における地価公示価格は、平成27年以降、上昇しており、伸び率も、市内平均より大きい。

<住宅地>



<商業地>



※基準日は各年の1月1日

資料：平成30年地価公示（国土交通省）

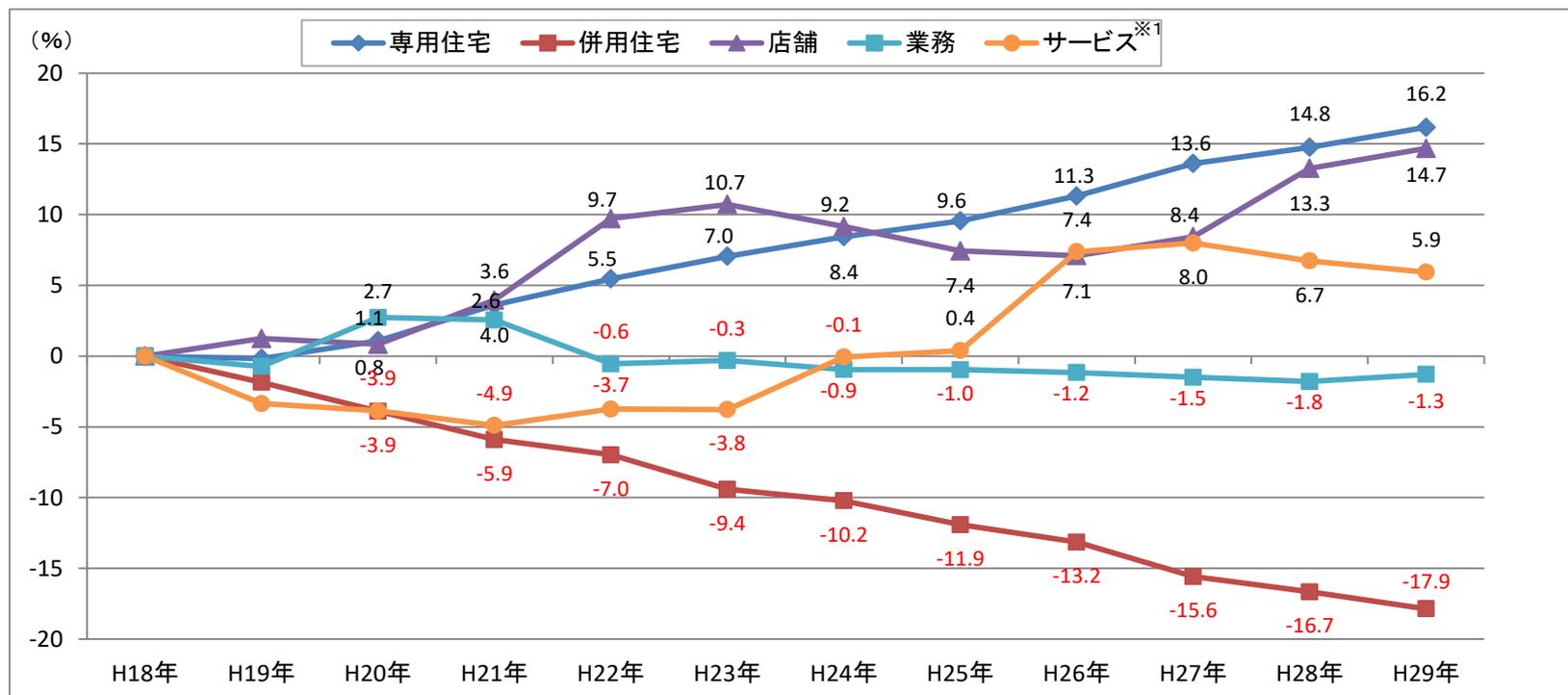
図 中京区及び下京区における地価公示価格の変化（左：住宅地，右：商業地）

7. 「まちなか」の現状

(7) 業種別延床面積の変化

- 専用住宅，店舗は増加傾向である一方，併用住宅は減少傾向にある。

※1：サービス……宿泊施設，劇場，映画館及び公衆浴場等



資料：土地利用現況調査（平成30年1月 京都市）

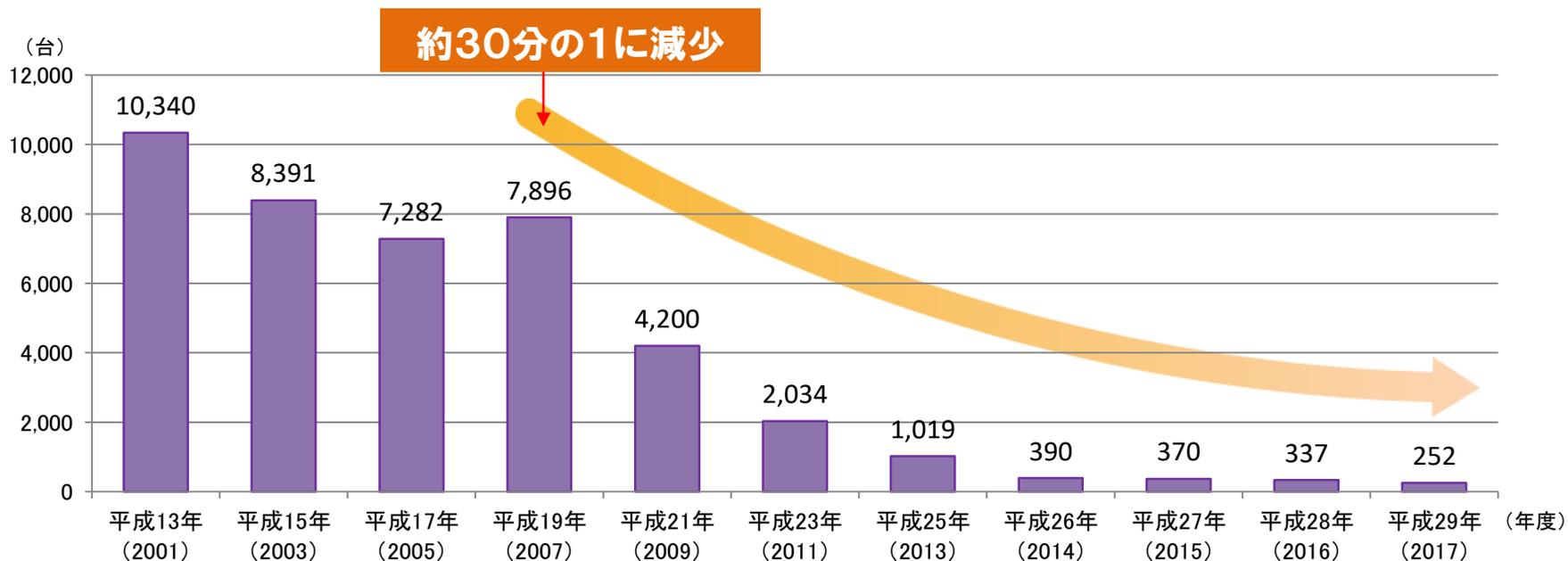
図 四条通整備区間周辺※2における建物用途別延床面積の推移（平成18年比）

※2：中京区…初音学区，柳池学区，銅駝学区，日彰学区，生祥学区，立誠学区
下京区…豊園学区，開智学区，永松学区

7. 「まちなか」の現状

(8) 放置自転車の現況

- 京都市における自転車等の放置台数は大きく減少しており、10年前と比べて約30分の1となっている。



※10～11月の晴天の平日、概ね午前11時時点において、市内各駅のうち1駅における放置台数が100台以上の駅を集計対象に放置台数を集計した値

資料：京都市

図 自転車等の放置状況

7. 「まちなか」の現状

(9) 四条通におけるタクシー駐停車実態調査

<調査概要>

- 時期:平成31年1月26日(土), 27日(日), 28日(月)(3日間)
- 場所:四条通の3地点(乗務員アンケートにおいて危険性が高いとされた箇所)
- 調査内容:調査員が該当するタクシーの駐停車時間及びナンバー等を記録。
 - ① 四条木屋町 交差点 9:00~11:00 (交差点における駐停車)
 - ② 四条高倉 大丸前タクシー乗り場 12:00~14:00 (タクシー乗り場からのはみ出し)
 - ③ 四条河原町 南東交差点付近 14:30~16:30 (交差点やバス停付近での駐停車)

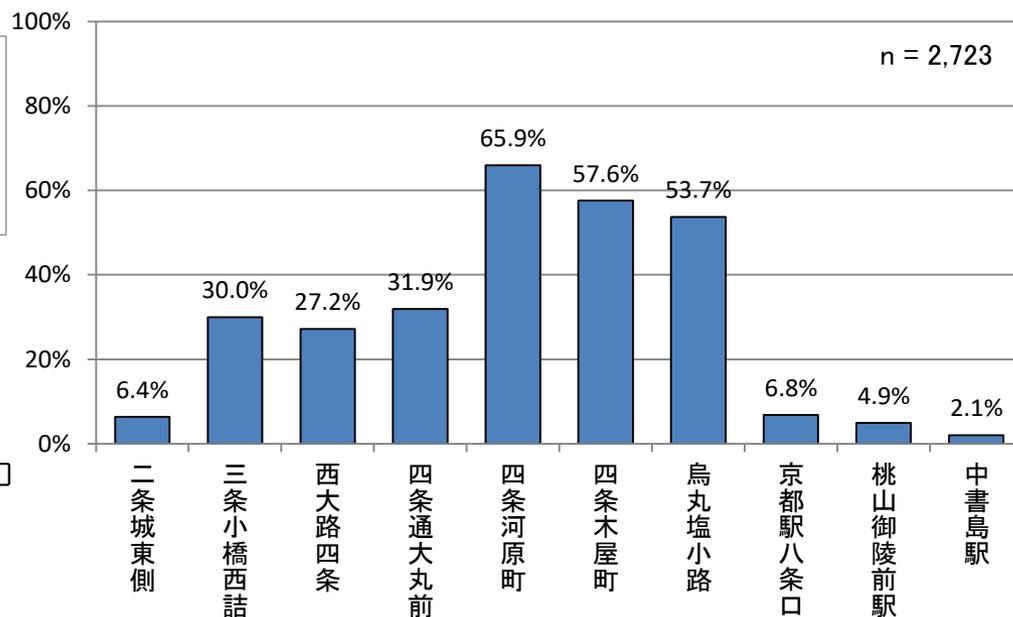
(参考)タクシー乗務員向けアンケートより

Q 他のタクシーの違法な駐停車により、進路を妨害されるなど、危険な目に遭ったり、見かけたりするなど、特に、危険だと感じる場所はどこですか？

(選択肢)

- A. 二条城東側タクシー乗り場
- B. 三条小橋西詰 C. 西大路四条交差点
- D. 四条通大丸前タクシー乗り場前
- E. 四条河原町交差点 F. 四条木屋町交差点
- G. 烏丸塩小路(京都タワー等) H. 京都駅八条口
- I. 近鉄桃山御陵前駅 J. 京阪中書島駅

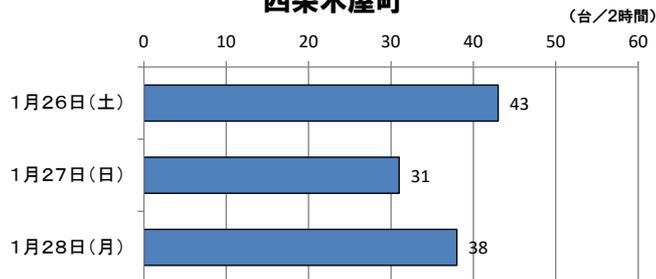
他者のマナー違反をよく見かけ、危険を感じる場所



7. 「まちなか」の現状

(9) タクシー駐停車実態調査

四条木屋町

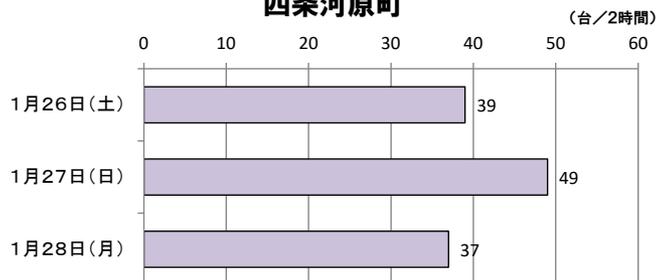


各日 9:00～11:00までの2時間計

【①四条木屋町（交差点）】

- 土曜日は、ほぼ常に阪急河原町駅の出口前に、タクシーが待機している状態

四条河原町

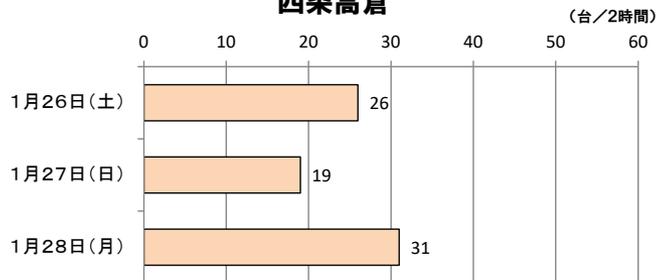


各日 14:30～16:30までの2時間計

【②四条河原町（南東角）】

- 交差点やバス停付近で客待ちや乗降を行っているタクシーが多数
- 外国人利用者が、信号待ち中のタクシーに駆け寄り乗車するケースなども見られた

四条高倉



各日 12:00～14:00までの2時間計

【③四条高倉（タクシー乗り場）】

- 案内員や指導員の見回り等がある時間帯は、規定の台数を超えた駐停車が減少

7. 「まちなか」の現状

(10) まとめ

【これまでの取組の成果】

<安心・安全>

- ・ 交通事故件数(中京区・下京区)が減少！(10年前の約3分の1に)
- ・ 放置自転車の台数が減少！！(10年前の約30分の1に)

<賑わい>

- ・ 四条通の歩行者数が増加！(整備前と比べて約17%増)
- ・ 鉄道駅の乗車人数も増加！(整備前(平成25年度)と比べて1割増)



【これからの課題？】

- 「まちの使い方, 活かし方」 = マネジメント の課題
- もっと「歩いて楽しいまちなか」にしていけるためには？

8. もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

(1) 「まちなか」に対する意見（推進会議等から）

【地域全体】

これまでの推進会議や来街者アンケート（平成28年11月）で得られた意見（抜粋）

- 「小さい子ども」や「お年寄り」と訪れやすくなった。
- まち歩きがしやすくなった。会話をしながら歩けるようになった。
- 看板がなくなったり，色合いが統一され，景観が良くなった。
- 観光客が増えている。自転車の使い方も含め，マナーの改善に向けた周知などを進めてほしい。

【四条通】

- 自由な速さで歩けるようになった。人とぶつからなくなった。
- 車道が狭くなり，反対側にある店舗を近くに感じられ，目が行くようになった。
- アーケードの幅が（歩道より）狭いので，暑いときや雨のときには歩きにくい。
- 地下道をうまく活用してほしい。

【細街路】

- 歩くためのスペースが明確になり，安全性が高まった。
- もっと安心して歩けるようになった方がよい。

8. もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

(2) SNS投稿にみる「まちなか」の評価

【調査概要】

対象期間	平成30年1月1日(月)～平成30年12月31日(月)
対象媒体	Twitter
対象件数	約36.5億件(うち, まちなかを対象とする投稿:約6万4千件)
分析方法	①Twitter への投稿(調査用のサンプル)を, 「まちなか」, 「交通」等のキーワードで絞り込み ②調査目的外の投稿(アニメや店舗の広報等)を除外 ③言葉同士のつながりやよく使われる言葉などから投稿内容の特性を分析。「まちなか」に対する評価や期待を導き出す。



来訪者が感じている『歩いて楽しいまちなか』とは？

まちなかの“いま”を, 来街者はどう発信しているのか？

大阪や神戸と比べて, 来街者にはどのように見えているのか？

8. もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

(2) SNS投稿にみる「まちなか」の評価

【フロー図】

1日あたり約1億件の
Twitterへの投稿
→ 1年間で約365億件の投稿

Twitter社が民間事業者向けに提供している
全投稿から10%をサンプル抽出したデータを活用

サンプル抽出された
約36.5億件/年の投稿

任意のキーワードを設定して、投稿内容を絞り込み

任意のキーワードで
絞り込んだ投稿
例えば、「まちなか」では
約6万4千件/年※

「まちなか」に関連するキーワード
・・・「四条」「河原町」など
「歩行環境」に関連するキーワード
・・・「歩行環境」「歩道」など

※ 都市施策に関係のない、イベントや店舗の広報に関する投稿などを除く

絞り込んだ投稿について、言葉同士のつながりやよく使われる言葉などから
投稿内容の特性を分析



Twitterへの投稿例

8. もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

(2) SNS投稿にみる「まちなか」の評価

①「歩いて楽しい」に関する投稿

- 四条河原町はいろいろなお店があって面白い。
- 河原町の商店街や路地裏を散策。めっちゃ楽しい！ レトロな店とオシャレな店が混在していい。
- 四条に久しぶりに来たら、いろいろ様変わりして楽しい。
- 四条通の歩道が広がって、良かったと思う。
- 京都に来るなら、寺町商店街か新京極商店街がおすすめです！
商店街が隣同士でつながっている横道にもいろいろお店があって面白いです。
- 錦市場での食べ歩きも面白いな。
- 広い範囲を雨に濡れずに、ショッピングできる四条河原町は優秀。
- 近代建築が好きなので、三条通は歩いているだけで楽しい。
- 御池通は広いし、木々もきれいで好き

② 観光客の増加などに関する投稿

- 四条通で外国人観光客が異国情緒を満喫していた！京都はますます繁盛！
- 四条河原町が観光客ですごい賑わっている！
- 観光客が多すぎて、バスの混雑が大変！
- バスに乗りたい人がバス停に溢れてるから、バスが来ても満員で乗れない。
- 錦市場が異国のようになった。外国人旅行者でぎゅうぎゅう。もう、そぞろ歩くなんてできなくなったのかなあ。

8. もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

(2) SNS投稿にみる「まちなか」の評価

③他都市に関する投稿との比較より

- 近隣他都市（大阪市及び神戸市）に関する投稿内容を同様の手法で分析すると、「夕暮れ時の風景」「ライトアップ」「銀杏並木」「景観」等、それぞれのまちに特徴的な美しい風景に関するものが多く見られた。
- 一方、「歩行者のマナー」に関する投稿も一定数見られた。京都の様子と比較しているものも見られ、京都の「まちなか」については、マナーの良さやゴミの少なさなども評価されていると考えられる。

(大阪・神戸に関する投稿例)

	肯定的な投稿(例)	否定的な投稿(例)
神戸	<ul style="list-style-type: none">• 神戸元町の散歩道からの夕暮れ時の港は格別。• ミント神戸からそごうに続く歩道橋沿いのライトアップが神戸らしいものでほっこりとした。	<ul style="list-style-type: none">• 京都に行ったときは煙草吸ってる人もいないし、ゴミも一切落ちてない、(中略)三ノ宮行ったら、そこら辺で煙草吸っているし、道路も歩道も全然ゴミ落ちているし、食べ歩きガンガンしている
大阪	<ul style="list-style-type: none">• 御堂筋の道沿いの銀杏並木はとても好き。• 御堂筋の歩道沿いのセットバックした軒線の景観が広々としている。	<ul style="list-style-type: none">• 御堂筋の高島屋前の歩道でスケボーしている人たちが危ないし、邪魔。• 御堂筋は歩道が広いけど、自転車が止まっていると結局狭い。

8. もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

(3) 今後の取組の方向性

①まちの使い方・いかし方(マネジメント)

- 四条通におけるエリアマネジメントの継続
(路上駐停車抑制のための各種モビリティマネジメント等)
- 「まちなか」への自家用車の流入抑制 等

②インバウンド観光客の増加など, 新たな課題への対応

- 混雑緩和に向けた取組 (分散化促進) 等

③もっと「歩いて楽しいまちなか」にするには?

「快適性」「美しさ」「楽しさ」の観点から, 考えられる方策は?

